

日 時：平成24年12月5日（水） 9：30～12：00

場 所：ニセコ町役場第2庁舎 小会議室1

参加者：（観光協会）中島（日）、濱口、前原  
（役場）山本、小椋

【観光協会からの意見】

- ・同業者間の連携について明記されていない。

→「VI. 受入れ環境の整備」の中で次の記載があり、内容重複するため追記しない。

【記載内容】

4. 事業者活動の活性化

①観光協会による地域振興事業の強化

・事業者間ネットワークの強化

観光事業者の連携を育成強化するため、観光事業者やニセコリゾート観光協会などと協力して意見交換の場や必要な体制づくりに取り組みます。また、観光協会が取り組む地域振興事業を支援し、観光事業者などと連携した活動を強化します。

- ・P18「リゾート地と市街地を結ぶ構想の策定」について、リゾート地と市街地を結ぶバス運行を想定しているのであれば、「ランドデザインを描き」という表現は大仰。

→「ランドデザイン」の表現を削除する。

- ・P21「野外で地場産品を楽しめる場所の創出」の掲載場所は、「III. 地域資源の活用」ではなく、「VI. 受入体制の整備」では。

→項目を移動する。

- ・P26「大規模な会議などの誘致」において、体制の整備について言及されていない。

→「コンベンション誘致に係る体制整備」について事業追加する。

- ・P36「スポーツ観光の振興」において、「町民生活を豊かにする」という視点も入れるべき

→戦略の考え方に、「観光の魅力向上とともに、町民生活の充実を図る」旨を追記する。

- ・P36「スポーツ観光の振興」のサブタイトル「スポーツによる感動・交流の創出」については、「感動」の文字は不要では。

→国が定めた「スポーツツーリズム推進基本方針」では、スポーツツーリズム推進により、“スポーツをテーマにした観光魅力化による感動の実現”を目指していることを踏まえ、素案では「感動」の文字を残した上で、ニセコ町観光戦略会議にて意見を求める。

- ・綺羅乃湯について言及されていない

→「I. 環境との調和」中の「2. 環境や景観に配慮したリゾート地づくり」の中に、「ニセコ駅前温泉「綺羅乃湯」での使用エネルギーの転換」として事業追加する。

- ・P38「観光客1人当たりの消費額を増やす取組」は、「シニア層への取組」ではないのでは。

→素案では戦略の名称を「シニア層への取組」のままとした上で、「シニア層の増加、人口の減少に向けた取組」などと名称変更すべきか、ニセコ町観光戦略会議にて意見を求める。

- ・各プログラムの進捗状況についての報告が必要

→現在作成中